



貯金の話

長い人生ですが、貯金ができる時期
いわゆる「貯めどき」というのが3回あります。

1 独身時代

2 子どもが小学生のうち

3 子どもが社会人となったあとと定年を迎えるまで

結婚30年、二人の子どもを育てたLPAの経験
談をお話しますね。

◆独身時代

私は自宅から電車通勤で車も持っていなかつたので、結婚までの5年間でなんとなく100万円くらい貯まっていた。当時は、郵便局の定額貯金が10年後には利息をあわせると約2倍になるという時代でしたから、結婚後も手をつけず、住宅資金の一部にしました。結婚してから「独身時代にもっと貯金しておけばよかった」って後悔して、それから貯金を頑張るようになりましたね。

◆子どもの教育費

子どもが生まれると、将来必ず教育費の山が来ることはわかりますよね。それで、子どもが生まれた時から小学校を卒業するまで、子ども一人に毎月5,000円、ボーナス月に50,000円積立貯金をしました。「児童手当」も貯金しました。とはいっても、今から20数年前の児童手当は、第1子はもらえず、第2子が毎月5,000円、それも小学校入学前までの約6年間だけだったので、現在は以前より手厚くなっていますね。祖父母・親戚からもらった入学祝いなども貯金しました。こうした貯金が大学の教育費の大きな助けになりました。今、子育て真っ最中のお父さんお母さん！児童手当は生活費に回さず、貯金されることをおすすめします。



◆定年を迎えるまで

そして現在はセカンドライフに向けて最後の貯めどきです。がんばります！

こうして書いてくると貯金が趣味みたいですが(笑)、貯蓄はオールマイティーいざというときにとても頼りになります。大病して働けない、転職で収入が減った、・・・など人生何が起こるか分かりません。保険・共済でまかなえない事態もありえます。貯蓄があれば、どんなときでも自分の生活費をまかなえて、心の余裕も持てるというものです。ありがたいことに何事もなければ、将来貯めたお金で旅行にも行けますね。人生お金が一番大事ではないですが、人生の大事な場面にはお金が必要なものです。子どもの教育費やいざというときの当面の生活費など蓄えておきたいですね。

LPA 片山淑子



言わずと知れた貯金の原則

「余ったお金を貯金しようと思うと貯金できない ⇒ 先取り貯金が鉄則」
「定期貯金など“おろしにくい”ところに貯金すること」

DEKO 編集部行き

●ご意見・感想・身近な話題・クイズの答えなどお寄せください。

イラスト

(フリガナ) おなまえ	実名での掲載を希望されない方は ペンネーム ()	ご利用形態
〒 おところ		電話番号

宛先

ハガキにはれる大きさを

〒509-0197 各務原市鷺沼各務原町1丁目4番地1 コープぎふ DEKO 編集部
FAX 058-370-6860 E-mail yohtubo@tcoop.or.jp
(※住所は省略いただいても可)

今月の
クイズ

漢字の破片を2つの漢字になるよう枠にあてはめてください。



完成した熟語は？

--	--

●2月号のクイズの答え
春一番 (はるいちばん)

クイズに応募いただいた中から抽選で10名の方に粗品を進呈いたします。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

クイズの応募お便り募集

■はがき・FAX・メールで以下の項目をご記入のうえ上記宛先までお送りください。
①クイズの答え(クイズのみの応募も可) ②身近な話題 ③読んだ記事名とその感想 ④しゃべっ茶ohと料理への投稿 ⑤〒番号・住所・氏名・年齢(差し支えなければ)・電話番号
※②の身近な話題、④の投稿は、発信往来、しゃべっ茶oh、料理のコーナー等で紹介させていただくことを前提にさせていただくため、採用に際して、投稿者へのご連絡は行いませんのでご了承ください。匿名やペンネームなどを希望される方は、お名前のごところにその旨を記載いただければ結構です。

お知らせ



と料理のテーマ
は13ページをご覧ください。

募集

今月号の応募締切 2013年3月9日(必着分)